

ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション カラーメゾチント体験教室

8月24・25日
土・日2日間
連続講座

当館での銅版画体験教室(モノクロームメゾチント教室、または銅版画自由教室)に参加された事のある方を対象とした、カラーメゾチントの体験教室を開催します。黄、赤、青、墨の4版をつくり、それぞれにインクをつめて刷り上げます。2日間の講習です。両日とも参加できる方のみ、ご応募いただけます。

講師:江本創(アーティスト)

日時:2013年8月24・25日(土・日) 各日14:00~17:00

会場:ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション1階

定員:15名(抽選)

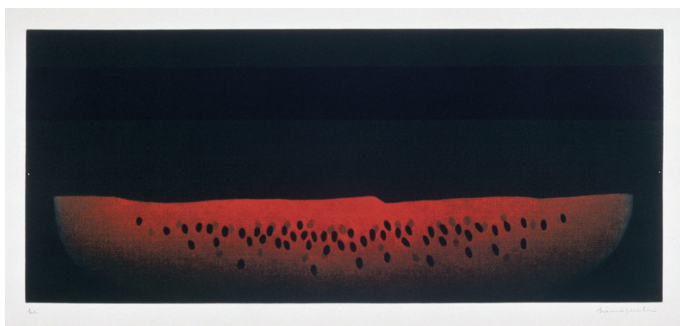
申込:往復はがきにてお申込みください。 ※8/12(月)必着

参加費:5000円+入館料(2日目は入館料無料)

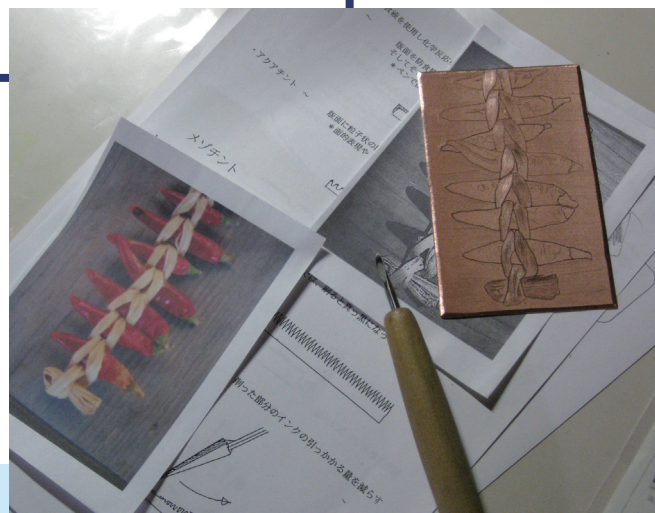
持ち物:下絵(サイズ12×7.5cm・色つき)、汚れても良い服装、またはエプロン。

※夏期休館中の開催となります。

Musée
Hamaguchi
Yozo :
Yamasa
Collection



西瓜 浜口陽三 カラーメゾチント



◎お申込み方法

必要事項をご記入の上、往復はがきでお申込ください。抽選結果は返信葉書で通知します。(※切の翌日発送)数名と一緒に参加ご希望の場合も1通の往復はがきでお申込みいただけます。代表者のご連絡先、参加希望者の人数とお名前をご記入ください。

2013年 銅版画体験教室開催予定

10月27日(日) ※展示替え休館中の開催です。

10:00~13:00 モノクロームメゾチント体験教室<<初心者向け>>

14:00~17:00 銅版画自由教室<<経験者向け>>

詳細は当館HPで告知いたします。

| | |
|---|----------|
| 郵便往復はがき | 113-0022 |
| 往信 | |
| 東京都中央区日本橋 蛸殻町1-35-7 ミュゼ浜口陽三・ ヤマサコレクション | |

| | |
|--------------|---|
| 郵便往復はがき | □□□-□□□□ |
| 返信 | |
| ご自分の住所 氏名 | ①ご希望のコース名と開催日 ②氏名(ふりがな) ③郵便番号・住所 ④電話番号 |

ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-35-7
Tel. 03-3665-0251 Fax. 03-3665-0257



Q1.メゾチントってどんな技法？

A1. 銅版画の技法のひとつ。
ビロードのような画面が特徴です。

銅の板に施した凹部分にインクをつめ、凸部分の余分なインクはふき取って強い圧力で紙に刷るのが銅版画。
メゾチント技法では、最初に版全面にぎざぎざの傷をつけ、ビロードのような黒い画面をつくります。これを「目立て」といいます。(当館の体験教室ではあらかじめ目立て加工のしてある銅板を使用します。)
明るく(白く)したい所は「スクレーパー」という道具でぎざぎざを削り、インクが溜まる量を減らします。
ぎざぎざが浅く、密度が低くなるほど明るく(白く)なり、微妙な削り加減で美しいグラデーションの表現が可能です。
えんぴつで黒くぬりつぶした画面に消しゴムで絵を描くようなイメージです。

下絵サイズ:12×7.5cm(縦横どちらでも可)

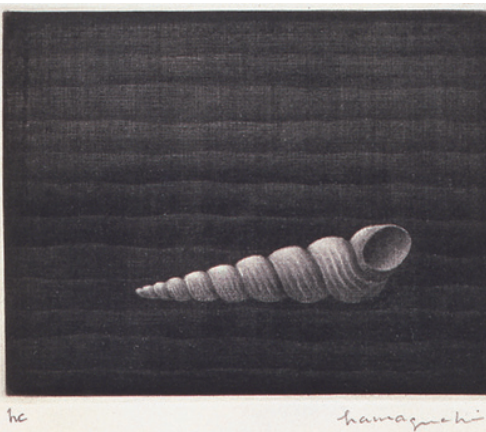
Q2.どんな下絵を用意したらいいの？

A2. 浜口陽三の作品を参考にしてみましょう。



左上:「猫」1937年

ドライポイント技法による作品。(今回の教室ではこの技法は使いません)
銅の板に先のとがった針のような道具で引っ掻き、そこにインクが溜まり、刷ると黒くなります。「線」で描くのに向いた技法です。



左下:「巻貝」1959年

メゾチント技法による作品。(今回の教室で使う技法です)
暗い背景のから白い巻貝が浮かびあがります。
よくみると、線ではなく、黒の「濃淡」で描かれています。
貝のまるみを帯びた形、影、背景のグラデーションは、メゾチントの得意とする表現です。どちらかというと「線」の表現には向きません。

下絵を描くときは 白・・・グレー・・・黒の、色の濃淡を意識して、えんぴつなどで塗り分けてみてくださいね。

(カラー教室に参加の方は色つきの下絵を用意してください。)

そのほか分からないことがありましたら美術館までお問い合わせください。